

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ボランティア活動（サービスラーニング） voluntary action; service learning		1年・2年	集中（前期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（自分の興味のあるボランティア活動を実際に行う。）	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
松崎勇人	本館2階	講義のない時間	授業中に指示します	
授業の概要				
ボランティア活動をして自分が成長したと思えるような講義展開をする。具体的には人とうまくかかわる技術や、社会的な問題を解決する技術をグループで学び、実際の活動に役立てる。ボランティア活動を実施し反省して改善する。学んだことなどをまとめたり発表する。				
授業の目標				
①人とうまく関わる技術を身に付けることができるようにする。 ②社会的問題の解決の方向性を思いつくことができるようにする。 ③自分の良さを生かしてボランティア活動を実施できるようにする。 ④ボランティア活動を反省し、その大切さや意味について実感できるようにする。				
授業の方法				
講義形式でボランティア活動を行うための説明等を行う。グループでソーシャルスキル・トレーニングや問題解決トレーニングを行う。興味のあるボランティア活動を行って振り返り日誌を書き、それに基づき参加者で話し合いをして、改善策を見つける。最後に自分なりの成果をまとめる。				
学習の成果（学習成果）				
①人と関わりながら社会の問題に興味を持ち自分も何かできると自信がもてる。 ②地域の人たちと一緒に活動することができる。 ③社会的な問題の改善へ向けて考え、実行できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	概要の説明(活動をする上で大切なことなど)			
第2回目	ソーシャルスキル・トレーニング			
第3回目	ソーシャルスキル・トレーニング、問題解決トレーニング			
第4回目	ソーシャルスキル・トレーニング、問題解決トレーニング			
第5回目	ボランティア活動の実施と振り返り			
第6回目	ボランティア活動の実施と振り返り			

第7回目	ボランティア活動の実施と振り返り
第8回目	ボランティア活動を実施しての問題点と改善へ向けての話し合い
第9回目	ボランティア活動を実施しての問題点と改善へ向けての話し合い
第10回目	ボランティア活動を実施しての問題点と改善へ向けての話し合い
第11回目	ボランティア活動の実施と振り返り
第12回目	ボランティア活動の実施と振り返り
第13回目	ボランティア活動の実施と振り返り
第14回目	ボランティア活動を実施しての問題点と改善へ向けての話し合い
第15回目	ボランティア活動を終えて、ボランティア活動を通して学んだこと、今後へ向けて

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の説明を聞く態度や、話し合いに参加する積極性などを評価する。評価基準の詳細は講義にて示す。
レポート	40%	ボランティア活動を実施しての感想や問題点や学んだことなどをレポートにまとめる。評価基準の詳細は講義にて示す。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	30%	ボランティア活動を実施して、それを振り返り日誌を書く。評価基準の詳細は講義にて示す。

教科書と参考図書

なし。その時々プリント等を配布する。

履修上の留意点・ルール

ボランティア活動前の準備に取り組むこと。説明のための講義や話し合いに欠席せず積極的に参加すること。ボランティア活動を積極的に行うこと。日誌を書くこと。